

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2012 年
1 月号

VOL.363



HP情報

○神事協ホームページがリニューアルしました。
(詳細は本誌11頁をご覧ください。)

○平成24年「三会同賀詞交歓会」開催にいて



目次

①② 建築探訪

③～⑥ 年頭挨拶

⑦⑧ シリーズ ぶらり街並み散策

⑨⑩ 年男・年女 新年の抱負

⑪ 神事協ホームページリニューアルのお知らせ

⑫ 臨時総会開催報告

理事会報告

委員長会報告

⑬ 三会同賀詞交歓会開催のご案内
旅のクイズ

10月号掲載記事に関する補足

⑭ 事務局便り
編集後記

被災された単位会の仲間へ全力の応援を!!

「大雄山最乗寺を訪ねて」

平塚支部 新倉 良一



本 堂

1

大雄山最乗寺は曹洞宗に属し、全国に4千余りの門流をかかえる寺である。福井永平寺、総持寺、関東最乗寺の三大寺院として今日に受け継がれている。

ご本尊は釈迦牟尼仏、脇侍仏として文殊普賢の両菩薩を奉安し日夜国土安穏万民富楽を祈ると共に真人打出の修行専門道場である。開創以来600年の歴史をもつ関東の霊場として知られ、境内、山林130町歩、老杉茂り霊気満山にひたり堂塔は30余棟に及ぶ。



多宝塔

開創の由来

開山了庵慧明禅師は、相模国大住郡糟谷の庄に生まれ(姓藤原)南北朝戦国乱世に虚しさを感じ、鎌倉不問禅師に就いて出家、能登総持寺、丹波永沢寺、越前龍泉寺、能登妙高庵寺をうけて大本山総持寺に輪住する。

50才半ばにして相模国に帰り、足柄山中の現在の地に啓示をうけ大雄山最乗寺を開山した、応永元年(1394年)3月10日のことである。

大雄山最乗寺の守護道了大菩薩は行者、相模房道了尊者として世に知られる。

大雄山、開創に当たり意、了庵禅師のもとに賛じ、土木の業に従事、約1年にしてこの事業を完遂した、その力量は1人にして500人に及び霊験は極めて高い。応永18年3月27日了庵75才にして還化以後五大祈願文を唱えて姿を変



烏天狗

え事業完遂ご山中に身を隠されたといわれている。修行の場の結界門を守る大天狗(鼻高天狗)小天狗(烏天狗)が各所に置かれている。



仁王門



不動堂

寺の概要

開創以来寺内の堂棟は時代ごとに代々造営、改築がおこなわれた歴史がある。開創以来本堂等は焼失し古い建物は残されていない。釈迦牟尼仏、菩薩のみが現在も同じように祭られている。

数多い参拝者に支えられて寺の造営は各地の信者の公共事業として重要な役割を果たした。造営、公共事業にあたっては、寺内の木材等の資材、造営作業場をそなえていたものといわれている。

全体構成

全体は寺院とそれをめぐる多くの石の階段、石橋などで構成され寺内奥に進むと一番高い山上にある奥の院にいたる。寺院をめぐるって歩くと寺内の霊場としての思いが感じられ、現在は修行僧の養成と信者の安穏祈願とそれ



奥の院へ続く350段余りの階段

にともなう各種の行事がとりおこなわれ、近郊から訪れる人々の憩いの場として四季の樹木のおりなす変化に多くの参観者でにぎわっている。

◆曹洞宗 大雄山最乗寺

所在地：南足柄市大雄町1157

アクセス：伊豆箱根鉄道大雄山線・大雄山駅よりバス10分道了尊

タウンビュー特別版

表紙左下の写真は12月10日深夜に観測された皆既月食です。



『年頭挨拶』

会長 上原 伸一



新年あけましておめでとうございます。

2012年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、旧年中は当協会に対し会員の皆様の多大なるご協力をいただきましたことに、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。特に東日本大震災に対する支援活動として、情報交換、復旧・復興のための技術者育成、義捐金活動、現地視察などへの継続的な協力に対し感謝申し上げますと共に、本年も引き続き支援活動にご協力をお願い申し上げます。

当協会では現在、次なるステップとして建築士事務所法制定や建築士事務所協会への当然加入化に向けての会員増強を図ること、また来年に迫ってきた公益法人改革への対応の準備を喫緊の課題として取り組んでいます。引き続き法定団体としての役割を踏まえながら、会員が誇れる魅力ある協会を目指した事業や一般社会への周知活動を展開していきたいと思っています。また、日事連始め他の単位会などの関連団体や建築士会などの友好団体とも連携を深め協力しながら活動していくことも、消費者側の立場になって私たちへの理解を深め信頼を得るためには大切なことと考えていますので更なる

交流も図りたいと思います。

私たちは、建物やまちづくりを通じ文化や環境形成を担う大変創造性の高い社会的な業務を行っています。また災害に対して安心安全な社会を構築していく上で私たちの使命は大変大きなものがあります。昨年はリーマンショックから立ち直りかけた日本に、東日本大震災により未曾有の被害がもたらされ厳しい環境を強いられましたが、本年は災害を乗り越えて明るい希望に満ちた社会を築きあげていきたいと思っています。

会員の皆様には本年も、法定団体として業務の適正化や消費者保護と各事務所の社会的地位の向上、そして私たちが社会や地域のニーズに応え貢献できる体制作りのために、絶大なるご協力をお願いいたします。



年頭のごあいさつ



神奈川県県土整備局
参事監兼建築住宅部長

籾 健夫



社団法人神奈川県建築士事務所協会会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、我が国が未曾有の大災害に見舞われた大変な年でありましたが、それに対して貴会会員の皆様が建築の専門家として被災地の支援・復興のため、直接、間接に様々ご尽力されたことに対し、深く敬意を表するものであります。

また、貴会には、日ごろから建築士事務所に対する指導や、建築士法改正に伴い課されることとなった管理建築士講習の未受講者に対する広報、啓発活動に取り組んでいただき

ましたことに、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年11月に復興関連予算9兆2400億円を含む国の第3次補正予算が成立し、本年は、震災復興が本格化します。また、本県においても、「かながわスマートエネルギー構想」に基づくソーラーパネルの住宅等への設置や、各種防災対策等に力を入れてまいります。こうしたことに關しても、専門的な知識と豊富な経験を有する皆様のより一層のご協力が必要であります。

最後になりましたが、本年が皆様にとって明るく希望の年となりますよう祈念いたします。

4

新年おめでとうございます 本年もどうぞ宜しく お願い申し上げます



社団法人 神奈川県建築士事務所協会賛助会

会長 太田 清一郎

旧年中は本会の諸兄・諸姉にお世話になりました。ありがとうございます。

神事協においては、「みらい・ふれあいフェスティバル2011」で皆様方と賛助会が一体となって協業できたことを感謝しています。

また協業と申しますと「マンション等の大規模修繕対応」を昨年11月に企画業務委員会の折笠委員長からの趣旨説明・永島委員からプレゼンを頂き、益々本会の皆様とのコラボレーションが深化していくように想われます。

一方、経済面におきましては東日本大震災・タイの大洪水・南欧に端を発したソブリンリスクとユーロ危機など厳しい状況下でございしますが、論語の「歳寒〜松柏〜」のように本会の皆様と一層の協業体制を築ければと想っております。

末筆ではございますが、本会各位の事務所の益々のご繁栄とご健勝を賛助会一同祈念しております。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



副会長
小林 忠志

新年を迎えて

会員の皆様は新年を迎え、恙なきこととお慶び申し上げます。

昨年は未曾有の震災により大変な一年になりましたが、神事協としても役員改選、神事協フェスティバルの開催、一般社団法人へ向けて、定款変更の臨時総会開催、新会計方式の支部への周知説明と多忙な一年となりました。

そんな中ではありますが新委員長の皆さんの熱意ある指導により活発な活動が行われ、支部に置きましても新しい支部長、いままでの支部長に於かれても大きな指導力をもって支部の活性化を計って頂きました。改めて委員長、支部長を支えて頂いた会員の皆様、委員長、支部長に改めて御礼申し上げます。

さて、まだまだ経済状況が好転するかは懐疑的ではありますが、神事協は前を向き会員の皆様の為、邁進していく所存です。今年は一般社団法人へ向けて様々な作業が行われ、支部の皆様にはより一層の御協力が必要になります。また、日事連の50周年記念大会が10月5日に開催されますが、当協会もどのように関わってゆくかも課題となります。

当協会には会員増強、会員の若返り、委員会のより一層の活性化、本会と支部の連携強化、事務局の合理化等の課題が山積しておりますが、本会役員、支部、会員、事務局のお力で必ず克服できると確信しておりますので、皆様の御協力を心よりお願い申し上げます。

最後に会員皆様の益々の御発展と御健勝を記念祈念して新年の挨拶とします。

5



副会長
芝 京子

明るい未来へ!!

穏やかな日の出、輝ける静かな波間のきらめき、新しい年を迎えて皆様方には、心豊かな日々をお過ごしのことと思います。

この穏やかな日の出を迎えた海が、牙をむき出し、人を、車を、建物を飲み込み、想像を絶する大災害をもたらした3月11日の出来事は、私達の脳裏から永遠に消されることは出来ません。被災された方々のお心を察するにもいかばかりか、ただただお見舞い申し上げ、私達それぞれが可能な限り出きる事をさせていただき、被災地の一日も早い復興を願うばかりです。

海外のユーロ不安に伴う経済不安等、日本の経済環境そして建築界においても厳しい状況になっていることは否めませんが、私達は夢を持ち続け、適正な業務を確実に遂行して参りましょう。

当協会の活動も、苦しい予算のなか、各委員会、知恵と工夫で大変活発なイベント・行事・講習会が行われております。各員会の皆様はもちろん、会員一人ひとり、賛助会、事務局の皆様方のご協力の賜物だと感謝しております。

公益法人改革法による新法人への移行にあたり、議論を重ねてまいりました。昨年12月2日臨時総会におきまして、定款の改定もご承認をいただき、支部長の皆様方にも大変ご苦労いただきながら25年度に向かって準備が整いつつありますが、24年度内に作業する課題がまだまだ多くあり、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

すがすがしく迎えた平成24年、被災地の皆様と素敵な夢の実現に向かって一緒に歩きましょう。明るい未来へ!!



副会長
阿部 茂廣

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。昨年は自然災害の怖さを痛感した一年でしたが、今年はそれを跳ね返し、明るく、楽しい生活が出来ることを願っているのは、皆様と同じです。

共通の願いを実現するには、他人任せとはいかなくなっております。私たち一人々がその為の行動をしなければならない年と思っております。

しかし、一個人ではその思いや行動も限られてしまいます。そこで、建築のプロ集団の事務所協会の真価が問われる年でもあると考えておりますが、皆様はどうお考えですか。具体的に何をするかについては、皆様のアイデアと行動力に頼らなければ出来ことではありません。共にがんばっていきましょう。



横浜ブロック長 小渡 佳代子

明けましておめでとうございます。

会員数270強を占める横浜ブロックは横浜支部（横浜市建築事務所協会）の組織改変により24年度は大きな変革の年になります。支部は神事協と一体となって協会活動を展開していきます。御指導の程、よろしくお願いいたします。



川崎ブロック長 白井 勇

川崎ブロックではここ10年徐々に川崎市等の公共機関からの委託での事業展開が拡大してきました。来年度も木造

耐震関連の事業を中心に引き続き進める予定になっており、一般市民への貢献にもつながる活動として位置づけています。さらに公益法人改革の動きの中で、一般社団法人に向けた取組みも次年度には新たな方向での体制で臨むことになりそうです。会員増強も会員100名に達することを目標に加入促進を一致団結して当たっていきます。新しい年に希望をつなげるブロック活動の充実を全員で考えていきたいと思っています。



横須賀ブロック長 増田 務

ブロック支部委員を務めて5年が経過しました。

この間、会員の増強及び退会防止実施、支部長合同ブロック支部会議、建築士事務所キャンペーン、スポーツ大会、フェスタ、地引網など、多岐に携わってきました。

貢献できたとは思っていませんが、残された任期を、再び横須賀ブロックと建築士事務所協会の発展に繋がる様、微力ですが努力して行きたいと思っています。



湘南ブロック長 野口 謙次郎

新年あけましておめでとうございます。藤沢支部長として何ができるのか模索中です。

支部会員のため、市民のために役立つ会を目指し、将来一般社会より事務所協会の更なる存在意義をと考えています



中ブロック長 山本 敏夫

中ブロック長として23～24年度の担当になりました。

昨年10月15日に開催いたしましたスポーツ大会には、各支部より多数の参加ありがとうございました。当日の天気は、朝は大雨、昼は快晴と人生そのもののようでした。役員として後継者の為にも、キビシイ仕事確保の中、頑張りたいと思います。



県央ブロック長 水村 好男

平成24年の新年を迎え、今年はどんな年になるのか…昨年は東日本大震災により、世の中全てがシフトダウン。今年

年は辰年！是非、昇り竜のように勢いよく回復していく一年になって欲しいものです。県央ブロックとしても今年は会員相互の交流が深まる機会を増やせればと思っております。そしてそれが県央ブロックの発展、更に神事協の発展に繋がる事を願いつつ…。今年もよろしくお願い申し上げます。



相模原ブロック長 西倉 哲夫

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。昨年は3

・11東北大震災が発生し大変な1年でありました。今年も東北支援を念頭に置きながら日本のため、神事協のため結果として消費者のためになる活動を行い、社会の認知をさらに向上させるべく、会員を何とか増強して神事協の皆様とともに発展させたいと思います。どうぞ、本年も相模原ブロック（相模原支部）のご指導をよろしくお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。



県西ブロック長 小林 幸一

新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

我々が存在意義を保ち、なおかつ発展させるために必要なことを、会員・賛助会員の皆様方と共に考え活動して参りたいと思います。

本年、県西支部が創立50周年を迎えます。その意味をかみしめ、本年を迎えています。

町並み散策ばらり in 神奈川

～新春・鎌倉七福神めぐり～



- ① 浄智寺（布袋）
- ② 鶴岡八幡宮
・ 旗上弁財天社(弁財天)
- ③ 宝戒寺（毘沙門天）
- ④ 妙隆寺（寿老人）
- ⑤ 本覚寺（恵比寿）
- ⑥ 長谷寺（大黒）
- ⑦ 御霊神社（福祿寿）



浄智寺(布袋)/鎌倉五山の四位に列せられる寺。弘安4年(1281年)、執権北条時頼の三男宗政の菩提を弔い、宗政とその子師時を開基として宗政の妻が建立した。現在の建物は関東大震災後に再建された。裏庭の隧道を抜けると、洞窟に弥勒菩薩の化身といわれる布袋尊が祀られている。